

令和7年度一般選抜（前期日程） 歴史総合・日本史探究 標準解答例

〔1〕 標準解答

- 問1. 石棒
- 問2. 抜歯
- 問3. 荒神谷遺跡
- 問4. 沖ノ島
- 問5. 鞍作島（止利仏師）
- 問6. 鎮護国家
- 問7. 紫香楽宮
- 問8. 庸は都での歳役にかえて布などを納めるもので中央政府の財源となったのに対し、
雑徭は国司の命令によって水利工事や国府の雑用に年間 60 日を限度に奉仕する労
役を指す。（78 字）
- 問9. 押領使・追捕使
- 問10. 藤原道長

〔2〕 標準解答

- 問1. 戒律
- 問2. 天文法華の乱
- 問3.

13世紀後半、北条得宗は南宋で栄える仏教を重要視した。時頼が蘭溪道隆を招き、鎌倉に建長寺を創建すると、時宗も無学祖元を招聘して円覚寺を建立するなど、禅宗・禅文化は飛躍的に日本社会に受容された。14世紀後半、明が誕生して海禁政策が始まると、日中間の僧侶の自由な往来は困難となり渡来僧は途絶したが、室町幕府は五山制度を整備し、禅宗は五山文学や水墨画などにも影響を与えた。16世紀半ば、ポルトガルのアジア進出にともない、ザビエルがキリスト教を日本に伝えた。当初、三国世界観を抱く日本人々は、キリスト教を仏教と認識し、宣教師を渡来僧とみなした可能性があった。以後、多くの宣教師が来日し、南蛮文化という独特の文化が創り出されたが、キリシタンの時代は江戸幕府による禁教令や鎖国政策によって終焉を迎えた。一方、17世紀中葉に新たな渡来僧として隠元隆琦が長崎に来日すると、宇治に万福寺の創建が許可され、黄檗宗が広まった。

（399字）

〔3〕標準解答

- 問1. ア 世間胸算用 イ 竹本義太夫 ウ 歌学方
- 問2. 蔵屋敷を置き，領内の年貢米や特産物である蔵物を蔵元・掛屋を通じて販売し，貨幣を獲得した。（44字）
- 問3. 苗字 帯刀
- 問4. 鄭成功
- 問5. 漢字と平仮名や挿絵と本文の組み合わせに適しているのに加え，需要に応じて重版がしやすいため。
- 問6. (f) 徳川家宣 (g) 武家諸法度
(h) 犬など生類すべての殺生を禁じ，捨て子の保護なども命じた。（28字）

〔4〕標準解答

- 問1.
ア 東京音楽学校
イ 田口卯吉
ウ オスマン帝国
エ セオドア・ローズヴェルト
- 問2. 血盟団事件
- 問3. 領事裁判権の撤廃／最恵国待遇の双務化（その他に，関税率の一部回復など）
- 問4. 第一次世界大戦後，ヨーロッパ諸国の復興が進み，国際競争が復活すると，日本は輸入超過となり，戦後恐慌が発生した。関東大震災に伴い，銀行は手形が決済不能となり，日本銀行の特別融資が行われたが，決済は進まなかった。その後，未決済の手形を抱える一部銀行の経営悪化が伝えられると，とりつけ騒ぎが起こった。（147字）
- 問5. 冷戦が本格化するなか，東アジアでは中華人民共和国が成立した。南北分断の朝鮮半島で朝鮮戦争が勃発すると，アメリカ軍が国連軍として動員されることとなった。在日アメリカ軍の動員後の軍事的空白を埋めるため，GHQは警察予備隊の設立を指示した。（117字）